くさばな しんぶん

2018年10月号

197-0802
東京都あきる野市草花3060
電話　042-558-3018

絶好の秋晴れのもと、サツマイモがたくさん収穫できました
（もり組　十月二十九日）

《運動会》

十月六日の運動会にはたくさんの方々にご来園いただき、ありがとうございました。四月以来半年経ってからの一大行事です。保育の課程としては大きな節目となる行事です。

運動会は、もちろんご家族にとっては幼稚園生活の中で、ご家族で楽しむレクレーション的な要素があります。しかし、教育・保育機関としての幼稚園は、さらにその中に、運動的要素と音楽的要素を盛り込んでいます。

幼稚園教育の基本である「幼稚園教育要領」には、健康・人間関係・環境・言葉・表現が挙げられています。個と集団という関係も含まれます。「赤勝て白勝て」にも、もそういう意味が込められます。当園は、一貫してこのように運動会を考えています。一つの演目のなかに混然一体として大事なものが盛り込まれています。

理事長・園長　山城清邦

《認定子ども園への移行について》

当園は、来年度から、いわゆる「認定子ども園」に移行することにし、準備を進めています。十月十二日には午前・午後の二回、このための説明会を開催しました（当日お配りした資料はいつでもお渡しできますので、まだ手にしておられない方はお申し出ください）。

この認定子ども園制度は、国が幼児教育・保育について、その保育需要を保障し、なおかつ質を確保し、乳児から学齢にいたるまで、切れ目のない教育・保育環境を整えようということが趣旨とされています。乳幼児の年齢に応じた保育場のコストを国が算定し、幼稚園や保育園にそれを確保しようというものです。これを公定価格といいます。ご家庭の負担と私学助成とでなりたっていた幼稚園の財政的基盤が、ご家庭の負担と公的補助とで賄われることになります。

かつては、幼稚園は文科省、保育園は厚労省というように厳然として行政のテリトリーが違っていましたが、この制度は、内閣府が扱うことになっています。ただ、法律としては、学校教育法や児童福祉法はそのまま残っていますから、まったく新しい法律の体系ができた、とはいえないかも知れません。しかし、価格競争の荒波から、各年齢ではコストがこれくらいかかる、という考え方と財政措置がされるという意味では大きな変革です。

ただ、そのためには、全園児が、一号認定か、二号認定か、という行政による認定を受ける必要がありますので、お手数をかけることになります。しかし、これまでも就園奨励費を受けるために所得の判定は受ける仕組みでしたから、ご理解をいただければ幸いです。

なお、この何号にあたるか、という手続きは、十一月から始まります。市役所からはすでに必要な書類は園に届いていますので、またあらためてご案内し、お配りします。

《絵本のこと》

幼児と絵本は切っても切れない縁で結ばれています。というのは常識でしょうが、大人だって絵本とは深い関係で結ばれています。落合恵子さんや、柳田邦男さんは、大人のためにも絵本は極めて重要と考えています。落合さんは、毎週土曜日の朝六時台のＮＨＫラジオ第一放送で、一冊ずつ絵本の紹介をしています。大人の心のオアシス。絵本の大事な役目です。

この八月のことでしたが、たまたま神戸市立美術館に行ったとき、まったく偶然に、いもとようこさんの原画展に巡り会い、そのなんともいえない暖かく美しい世界を楽しむことができました。あいにくサイン会には間に合いませんでしたが、会場は子どもさん連れの家族の姿で大賑わい。また、幼稚園や保育園の関係者とみられる人もたくさん来場していました。あれもこれも欲しかったのですが、数冊選んで買ってきました。小学校の教材として有名な新美南吉の「ごんぎつね」も含まれています。

ところで、絵本について次のような文章に出会いましたので、ご紹介します。

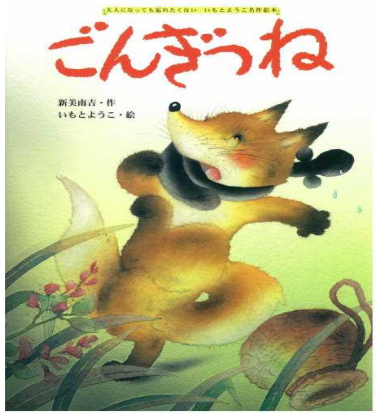
（藤本朝巳の絵本論　「都私幼連だより」　平成二十九年五月一日号）

「一つ、絵本は、子どもが生まれて初めて出会う文学である。（言葉、音、リズムなど、すべてが文学）

二つ、絵本は、子どもが生まれて初めて出会う芸術である。（絵本の絵は芸術的に優れたもの）

三つ、絵本は、楽しく読むもの。（絵本は教材ではない。読ませるものでなくて、読んであげるもの）

絵も大事、文も大事です。それ以上に膝の上に抱っこして読んであげるということが大切なのではないでしょうか。大好きなお父さん、お母さん、幼稚園の先生や保育園の先生が絵本を読んでくださると耳から言葉が入って目で絵を見ることが同時にできる。これが絵本の一番いい楽しみ方なのです。」



おとなはこうした絵本との関係はむずかしいでしょうが、幼児にとっては大事なことだと思います。絵と声（音）と体のぬくもり。この三つが揃うとたしかにすばらしいですね。

《芝生のこと》

園庭の芝生は、毎年、八月はじめのころまではかなり元気で、この調子ならば夏場を乗り切って、秋の運動会までもってくれるかな、と期待するのですが、八月中旬を過ぎると、急に元気がなくなって、運動会の頃にはすっかり姿を消し去ることが連続しています。芝生の管理会社にはずっと毎年注文を付けてきたのですが、ラチがあかないのでその会社とは縁を切り、方法を変えてみることにしました。ですのでこの秋は、養生期間をとらないでいます。来年に入ってから、別の方法で試みることにしています。そんなわけで、この冬は芝生のない冬となりますが、ご了解ください。

（十月三十一日記）

日々の保育から

主任教諭　影山 幸江

今年の運動会は、前日の雨に無事に開催できるのかヒヤヒヤさせられましたが、当日は、プログラムを進めていくうちに雲の隙間から太陽が顔をのぞかせ、あっという間に良い天気となりました。後半は暑さで少々参ってしまうほどでしたね。その中でも、お子さまたちは最後まで頑張って参加することができました。もちろん、一人ひとり違った姿ではありましたが、どのお子さまも、自分の持つ最大限の力を出せていたと思います。この日に向けて練習に取り組んできたことも含めて、一人ひとりが大きな成長を見せてくれた運動会となりました。保護者の皆さま、ご近所の皆さまのおかげを持ちまして無事に運動会を終えられたことに感謝いたします。ありがとうございました。

さて、お子さまたちは、普段の保育に戻り、毎日元気に遊んでいます。運動会を経て、活動や遊びに変化が見られた様に思いますので、少しお知らせしたいと思います。

＜かわぐみ＞

外遊びでは、固定遊具などで遊ぶお子さまが増え、体を動かして遊ぶ楽しさを少しずつ感じてきていると思います。まだまだ保育者が主導ではありますが、一つひとつ保育者や友だちと進める中で、成功体験が増えていき、自信となっているようです。また、歩行力を高めようと、お散歩も積極的に取り入れていました。クラス単位で園舎の周りを歩いたり、もりぐみさんに手をつないでもらい公園に行くなどしたりして、少しずつ歩行距離を伸ばしているところですが、運動会前に比べて自分の力で歩くということが備わってきているように感じました。今後も継続した活動となりそうです。

〈もりぐみ〉

運動会以降、クラスで長縄跳びや運動遊びに積極的に取り組んでいました。長縄跳びでは、両脚を揃えて跳ぶことや、タイミングに合わせて跳ぶことなど、これまであまり経験のなかったお子さまが多く、はじめのうちは苦戦していましたが、少しずつ要領を覚えて跳べるようになってきたお子さまたちでした。また、運動遊びでは、マット運動や平均台などにもチャレンジしていましたが、どのお子さまも、『やりたい！！』と意欲的に参加していました。頑張る友だちの姿を見て、自然と『がんばれ！』という応援の声も聞かれ、自分が頑張るだけではなく、友だちの頑張りにも関心が向けられるようになったと感じました。

〈やまぐみ〉

外遊びでは、友だちどうしで誘い合い遊びが始まったり、下のクラスの子と一緒に遊んだりするなど、これまで以上に遊びが充実してきたと感じます。特に、室内での遊びの様子を見ると、いくつものごっこ遊び（お店屋さんなど）が展開されているのですが、全部の遊びがひとまとまりになっていて、お金を持ったお客さん役が、買い物をしたり病院で診察をしたりして楽しむ姿が見られました。また、遊びを展開していく中で、新たに必要なものがあれば、友だちと作り足していくなど、自分たち自身で考え、遊びが発展するような方向へ自然と向かっていく様子に、クラスのまとまりを感じています。

このように各学年とも、運動会を通していろいろな方面での成長が見られたように思います。今年度も折り返し点を過ぎましたが、残りの半年でのさらなる成長が楽しみです。11 月もたくさん体を動かして、元気に遊べるよう援助していきたいと思います。

保護者会だより

運動会の保護者競技では沢山の保護者の方にご参加頂き、ありがとうございました
１０月はご夫婦の三橋武夫先生・こと江先生にインタビューしました

バス運転くみ　武夫先生

Q１．趣味 or 今ハマっている事は？

今ハマっているのは、1950 年代のブリキの玩具の修理復元です。子供の頃から機械いじりが大好きでした。動かなかった鉄腕アトムや、鉄人 28 号が動き出すと感激します。20 年位前にテレビの『なんでも鑑定団』に玩具を持って出演した事があります

Q２．なぜ、この仕事を選ばれたのですか？

某自動車会社に 45 年勤め、再雇用の 65 歳まで勤めきるつもりでしたが、女房が勤めてたのが縁で、園バスの運転をする様になりました。人生に一度は仕事を変えてみたいとの好奇心もありました
勤めて早や８年目になります
振り返ってみますと、園長先生や良き先生方と共に仕事が出来て、
転職して良かったと思います
また、保護者の皆様にも何時も温かい声を掛けて頂き感謝しています

キンダーくみ　こと江先生

武夫先生が出演された『なんでも鑑定団』拝見してみたいですね
続いては、朝キンダーでお世話になっている、こと江先生へのインタビューです

Q１．趣味 or 今ハマっている事は？

趣味は日本舞踊を習っています。今ハマっている事は、健康に関するテレビ番組を観る事です（年齢によって現れる症状があるため）

Q２．なぜ、この仕事を選ばれたのですか？

前の園長（故・大西治子さん）の紹介で縁をいただき、バスの添乗員・給食室を経て、一度退職しましたが、山城園長より声を掛けてくださったおかげで
朝キンダー担当として現在に至っています
※子ども大好きです

武夫先生・こと江先生お忙しい中インタビューのご協力ありがとうございました
11 月 21 日（水）は、親子観劇会です
お楽しみに！

担当：　もり組　池田・堀・山下